

お だ たか ひさ
小田貴久



令和6年第三回定例会において、かながわ未来会派を代表して、提案された諸議案等に対して、賛成討論を行いましたので、一部抜粋して紹介いたします。

県議会では議案や報告等の他に、各常任委員会において所管事項に対しても質疑を行うことができ、討論の中で意見として発表します。

各テーマにおける当会派の考えの一端が、お伝えできると考えております。

私 は、かながわ未来神奈川県議会議員団を代表し、今定例会に提案された定県第83号議案「令和6年度神奈川県一般会計補正予算(第2号)」およびその他の諸議案等について、所管常任委員会の審査結果を踏まえ、討論を行います。

能登半島地震の被災地に記録的な豪雨が襲い、河川の氾濫や土砂災害など、甚大な被害が発生してから半月が経ちました。一日も早い復旧と復興を願い、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたします。また、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。本県でも、8月に発生した県西部の地震や台風10号による大雨の影響で、多くの被害が出ており、自然災害の恐ろしさを改めて実感しています。このことから、あらゆる災害に対する備えの重要性が一層高まっています。県民の生命と財産を守るため、県としての備えや体制づくりなどの対応を求め、討論に入ります。

初めに、「令和7年度の当初予算編成について」です。



令和7年度財政見直しによると、県税と地方譲与税については、定額減税の影響がなくなるとともに、個人所得の増加や好調な企業収益の影響が見込まれています。このため、令

和6年度当初予算に対し、一定程度の増収が期待されるものの、定額減税の補填に係る交付金がなくなることや、歳出面では、介護・医療・児童関係費や県有施設の更新等の政策的経費が増加するため、約550億円の財源不足が見込まれています。代表質問において、知事から「様々な取組を着実に進め、持続可能な財政運営に向けて、しっかりと歳入確保を図っていく」との答弁があり、あらゆる歳入確保策が必要です。具体的には、雇用面の効果も期待できる企業誘致施策「セレクト神奈川ネクスト」や税外収入の取り組みであるネーミングライツなど財源確保への積極的な取組を求めます。また、スクラップ&ビルドによる事業見直しを進め、デジタル技術を活用し、民間活力の推進を図ることも必要です。限られた財源の中で、効率的な行政運営を行えるよう、令和7年度の予算編成に取組むことを求めます。

次に、「地震被害想定調査の見直しと新たな地震防災戦略の策定について」です。

(裏面に続く)→

小田貴久プロフィール

- 1982年(昭和57年)4月9日生まれ。
- 相模原協同病院生まれ、西橋本出身。
- 橋本幼稚園(長友学園)、市立橋本小学校、市立旭中学校、県立相模原高校、中央大学法学部卒。
- 大和証券株式会社で資産コンサルタントを経験後、衆議院議員・もとむら賢太郎事務所秘書。
- 2011年4月 相模原市議会議員に当選。以降3期まで連続当選。
- 2023年4月 神奈川県議会議員に初当選。

【趣味】テニス、宝塚歌劇団などの舞台鑑賞
【家族】妻(会社員)、娘、犬(ペキニーズ)

小田貴久 政務活動事務所

〒252-0143 相模原市緑区橋本6-17-3 広木ビル1階-2

TEL 042-703-8858 FAX 042-703-8859

E-mail: sagamihara@oda-takahisa.net

小田貴久の県政活動をお届け



公式LINE



公式HP